



# 里山だより

No.16  
2021年春

今回は（結構どこでもすぐ見かける）「オオイヌノフグリ」とオオイヌノフグリと同じ仲間3種類の野草とあわせて紹介します。里山の小さな小さな野草たちも一生懸命春を告げています。是非一度足元の野草たちも観察してみてください。

在来種「イヌノフグリ」に似ていてそれより大きいことが名前の由来

オオバコ科  
クワガタソウ属

1880年ごろ日本に渡来した「帰化種」。今は世界中に。

花びらは4枚・・・とみせかけて実は根元でつながっている

2～5月頃咲くが条件さえよければ季節関係なく場所も道端、野原田んぼ脇など結構どこでもみかける。

たくさん群れで咲く様子から「星の瞳」というロマンティックな別名もある。



オオイヌノフグリ  
*Veronica persica*

原産地：ユーラシア大陸

葉っぱはギザギザ  
茎の下部では対生  
上部では互生

花の大きさは5～10mmくらい  
濃い青紫～青色  
上を向いて大きく開いて咲く

るりからくさ  
瑠璃唐草

別名はどちらも同じだけど大きさも種類も違う

ネモフィラ



「1日花」と言われていたが3日ほど開閉を繰り返すものもある開いている間に「他家受粉」（虫など）が行われなければ、オシベがぐぐぐと真ん中のメシベに寄って行って自家受粉をおこなう術をもちあわせている。どんな方法であれ受粉がおこなわれたら花はその日のうちにおちてしまう。

HP「そよ風通信」さんよりお借りしました



イヌノフグリ

日本在来種  
オオイヌノフグリに押され今は絶滅危惧種  
オオイヌノフグリよりはるかに小さく、薄いピンク色  
葉のギザギザはオオイヌノフグリより少ない  
外来種でもタチイヌノフグリとは意外に相性がよく共存していることが多い

「犬の陰囊」という名前の由来はこの形から。



フラサバソウ

原産地：ヨーロッパ  
フランシエさんとサバシエさんが発見し記録に残したことから「フラサバ」。  
オオイヌノフグリを小さくしたような花とにかく毛深い←



タチイヌノフグリ

名前の通り、「立つ」（花の時期に茎が立ち上がる）  
花の色は普通青だが、ピンクやまれに白もある

今年の早春にもたくさん  
みつけた！

ニホンアカガエルの卵塊とフキノトウ

